

公益財団法人栃木県国際交流協会経営方針 [令和5(2023)年度～令和7(2025)年度] 結果報告

令和8年6月

I 総括

外国人住民が増加し、さまざまな分野におけるグローバル化が進展する中、外国人住民への支援や多文化共生社会づくりの推進に資する事業に重点を置き、栃木県の国際化を推進する唯一の「地域国際化協会」として、地域における総合的なコーディネーターの役割を積極的に果たしてきた。

多文化共生社会づくり事業においては、従来からの情報提供や相談事業を拡充するとともに、就労、子育て、災害など、生活に密着した分野での新たな事業を実施した。

国際交流・国際協力・国際理解事業においては、県民の国際化活動のさらなる推進を視野に入れながら、事業に取り組んだ。

また、厳しい財政状況の中でも事業を着実に実施していくため、自主財源の確保やとちぎ国際交流センターの運営などの協会の基盤整備にも取り組んだ。

協会をとりまく経営環境には依然厳しいものがあるものの、地域の国際化を推進する中核的機関として、外国人を含む県民のより身近な存在になることを目指しながら、令和8年3月に策定した新たな経営方針に基づき、社会情勢や県民ニーズなどの変化に即した事業の展開に取り組んでいくとともに、引き続き安定した経営に努めていく。

II 取組の結果

令和5(2023)年度から令和7(2025)年度における経営方針に基づく具体的な取組の結果及び指標(目標)への到達状況は、以下のとおりである。

なお、取組の一部については、「経営方針[令和2(2020)年度～令和4(2022)年度]」から継続して実施しているものがある。

1 事業の展開

(1) 主な成果

① 多文化共生社会づくり事業

日本人と外国人がともに暮らしやすい多文化共生の社会づくりを推進するため、外国人住民を支援する主要な事業を引き続き実施するとともに、社会情勢や県民ニーズに即した事業を展開した。

また、これら多文化共生の社会づくりを担う人材を市町国際交流協会や交流団体等と連携して育成し活躍を促進した。

主 な 取 組	具体的な事業内容
<p>ア 外国人住民の生活支援（相談、災害時支援、情報提供など）</p>	<p>【相談】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ とちぎ外国人相談サポートセンターの運営 [R5～R7] ・ 外国人向け新型コロナウイルス相談ホットラインの運営 [R5] ・ 日本語教育コーディネーターによる日本語学習に関する相談対応 [R5～R7] <p>【災害時支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ TIA 外国人キーパーソンネットワークの整備・運営、キーパーソンによる情報の拡散 [R5～R7] ・ TIA 外国人キーパーソン研修会の開催 [R5～R7] ・ 災害時外国人支援セミナーの開催 [R5～R7] ・ 外国人のための防災教室の開催 [R5～R7] ・ 栃木県内市町国際交流協会防災訓練「多言語翻訳シミュレーション」の実施 [R5～R7] ・ 県内の国際交流協会等が主催する研修会等への講師協力 [R5～R7] <p>【情報提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページの運営 [R5～R7] ・ TIA 事業レポートの掲載 [R5～R7] ・ SNS (Facebook) ページの運営 [R5～R7] ・ インターネット動画チャンネル (YouTube) の運営 [R5～R7] ・ イベント・セミナー等のインターネット動画配信 [R5～R7] ・ 新型コロナウイルス感染症に関連する多言語情報の提供 [R5] ・ 外国人住民のための日常生活におけるルール・習慣シートの作成 [R7]

主 な 取 組	具体的な事業内容
イ 日本人と外国人、外国人相互のコミュニケーションの支援（日本語学習支援、県民外国語講座など）	<p>【日本語学習支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本語教育コーディネーターの設置[R5～R7] ・ 日本語学習支援者のための情報交換会の開催[R5～R7] ・ オンラインによる日本語学習支援（学習者対象、支援者対象）[R5～R6] ・ オンラインによる企業向けのやさしい日本語セミナーの開催(R7のみ対象に行政職員も追加) [R5～R7] ・ オンライン日本語学習支援者バンク運営[R5～R7] <p>【県民外国語講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県民外国語講座の開催[R5～R7] <p>【やさしい日本語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ やさしい日本語普及員バンクの運営[R5～R7] ・ やさしい日本語普及員養成セミナーの開催[R5～R7] ・ 「やさしい日本語」研修出前講座の実施[R5～R7] ・ ハンドブック『『やさしい日本語』で話してみよう！』の配布[R5～R7] ・ 多言語のリーフレット「みんなでやさしい日本語！」の配布[R5～R7] ・ 「やさしい日本語」ロゴマーク缶バッジの作成・配布[R5～R7] <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トランスレーターバンクの運営[R5～R7] ・ とちぎ多文化共生フォーラムの開催[R5～R7]

主 な 取 組	具体的な事業内容
ウ 外国人住民の社会参画促進、活躍の場の提供（外国人材活用支援、留学生支援など）	<p>【外国人材活用支援・留学生支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人材コーディネーターの設置[R5～R7] ・ 企業向け外国人材雇用等相談窓口の運営[R5～R7] ・ グローバル人材のための合同企業説明会の開催[R5～R7] ・ キャリアセンター職員向け企業説明会の開催[R5～R6] ・ とちぎ外国人材活用促進協議会業種別部会セミナーの開催[R5～R7] ・ 外国人受入れのためのスキルアップ道場の開催[R5～R6] ・ 外国人材受入オーダーメイド研修[R7] ・ 職業訓練外国人支援事業の実施[R7] <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護の仕事のための日本語セミナーの開催[R5～R7]
エ 多文化共生の社会づくりを担う人材の育成（多文化共生に関する研修・セミナーなど）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多文化共生実務者対応力向上研修会の開催[R5～R7] ・ やさしい日本語普及員バンクの運営[R5～R7]（再掲） ・ やさしい日本語普及員養成セミナーの開催[R5～R7]（再掲） ・ 日本語学習支援者を対象とした研修の開催[R5～R7]（再掲） ・ 県民外国語講座の開催[R5～R7]（再掲）

② 国際交流・国際協力事業

県民レベルの国際交流・国際協力を推進するため、県民の国際活動への関心と参画を促進し、地域の国際化の担い手である市町国際交流協会や民間団体、事業協力者などとの連携を強化し、協働を進めるとともに、JICA(国際協力機構)と連携した国際協力事業を展開した。

主 な 取 組	具体的な事業内容
ア 県民の国際活動への関心向上と参画の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ とちぎ国際交流センターの施設貸し出し及び開放、施設を利用した情報提供[R5～R7] ・ ランチタイムコンサートの開催[R5～R7]
イ 関係団体等との連携強化と協働の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市町国際交流協会連絡会議の開催[R5～R7] ・ 国際交流団体行事等への後援及び広報協力[R5～R7] ・ 県内の国際交流協会等が主催する研修会等への講師協力[R5～R7] (再掲) ・ ホストファミリーバンクの運営[R5～R7]
ウ JICAと連携した国際協力事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ JICA 栃木デスクの運営支援[R5～R7] ・ JICA 教師海外研修・成果報告会の開催[R5～R7] ・ JICA 海外協力隊活動報告会の開催[R5～R6] ・ JICA 海外協力隊活動紹介動画作成[R7]

③ 国際理解事業

関係団体と連携し県民の国際感覚の醸成を進め、国際理解を促進するとともに、国際理解を推進する人材を育成した。

主 な 取 組	具体的な事業内容
ア 県民の国際感覚の醸成、国際理解の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際理解出前講座の実施[R5～R7] ・ とちぎグローバルセミナーの開催[R5～R7] ・ 国際理解講座の開催[R6～R7] ・ 「世界の絵本」の整備[R6]
イ 国際理解を推進する人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年の職場体験、インターン、ボランティアの受入れ[R5～R7]

2 基盤整備

(1) 主な成果

① 財源の確保

多文化共生や国際化に関する社会のニーズを的確に把握し、事業受託の機会を拡大し外部資金の導入を進め、一層の財源の確保に努めた。また、賛助会員の拡大に努め、県民と接する機会の拡大を図りながら協会への理解を深め、協力者の拡大につなげた。

主 な 取 組	具体的な事業内容
ア 財源の確保	<ul style="list-style-type: none">・ ホームページ、SNS による賛助会員の募集 [R5～R7]・ 団体・法人へのバナー広告の勧誘 [R5～R7]・ 県民外国語講座の開催 [R5～R7] (再掲)・ 職業訓練外国人支援事業の実施 [R7] (再掲)
イ 協会への理解促進及び協力者の拡大	<ul style="list-style-type: none">・ 法人賛助会員活動紹介コーナーの設置 [R5～R7]・ とちぎ国際交流センター運営におけるホスピタリティの向上 [R5～R7]・ とちぎ多文化共生フォーラムの開催 [R5～R7] (再掲)・ とちぎ国際交流センターの施設貸し出し及び開放、施設を利用した情報提供 [R5～R7] (再掲)・ 国際交流団体行事等への後援及び広報協力 [R5～R7] (再掲)

② 組織と人材育成

自治体や事業者・関係団体等からの業務に関する信頼に応えられるよう、職員の知識と専門性のより一層の向上に努めるとともに、人的資源を最大限に活用した組織体制で効率的な業務の執行に努めるとともに、職員のコスト意識をより高めながら諸経費の削減を進めた。

主 な 取 組	具体的な事業内容
ア 職員の知識と専門性の向上	<ul style="list-style-type: none">・ 入管協会、公益法人協会等が開催する研修会への参加 [R5～R7]・ 出入国在留管理庁主催の外国人支援コーディネーター養成研修修了 [R6]・ 文部科学省主催の日本語教育プログラムデザインコース修了 [R7]

③ とちぎ国際交流センターの運営

県民による国際化に関する活動を促進するため、施設・設備の利便性を向上させるとともに、国際化情報の提供機能を強化し、利用者が満足するサービスの提供に努めた。

また、さまざまな年齢層の県民や外国人住民の国際化に関する活動への参画を促して活動の拡大につなげるとともに、利用者の声を運営に反映して協会への理解促進につなげた。

主 な 取 組	具体的な事業内容
ア 施設・設備の利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書閲覧室に備える図書等の更新[R5～R7] ・ とちぎ国際交流センターのトイレ洗面台等自動水栓の整備[R6]
イ 協会への理解促進及び協力者の拡大(再掲)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人賛助会員活動紹介コーナーの設置[R5～R7] (再掲) ・ とちぎ国際交流センター運営におけるホスピタリティの向上[R5～R7] (再掲) ・ とちぎ多文化共生フォーラムの開催[R5～R7] (再掲) ・ とちぎ国際交流センターの施設貸し出し及び開放、施設を利用した情報提供[R5～R7] (再掲) ・ 国際交流団体行事等への後援及び広報協力[R5～R7] (再掲) ・ ランチタイムコンサートの開催[R5～R7] (再掲)

3 指標

項 目	令和5(2023)年度 (実績) [目標に対する到達率]	令和6(2024)年度 (実績) [目標に対する到達率]	令和7(2025)年度 (実績) [目標に対する到達率]	令和7(2025)年度 (目標)
相談件数	1,301件 [52.0%]	1,551件 [62.0%]	1,511件 [60.4%]	2,500件
協会ホームページ訪問件数	374,935件 [107.1%]	472,652件 [135.0%]	696,814件 [199.1%]	350,000件
協会フェイスブックのフォロワー数	1,154人 [88.8%]	1,303人 [100.2%]	1,398人 [107.5%]	1,300人
事業協力者登録者数*	761人 [104.2%]	808人 [110.7%]	851人 [116.6%]	730人
賛助会員数	199会員 [73.7%]	191会員 [70.7%]	197会員 [73.0%]	270会員
バナー広告掲載延べ月数	99か月 [110.0%]	85か月 [94.4%]	44か月 [48.9%]	90か月
とちぎ国際交流センター利用者数	18,731人 [104.1%]	17,939人 [99.7%]	18,044人 [100.2%]	18,000人

※トランスレーター、やさしい日本語普及員、外国人キーパーソン、災害時外国人サポーター、ホストファミリー、国際理解講師など